

若い世代に伝えてください

お年寄りの知恵と経験

お年寄を敬つて、何もさせないよう気をつかうといいます。それを敬うというのでしょが、それも敬うといいます。

「もう隠居だから」「出しやばりだと思われる」など引っ込み思案にさせてしまった原因になつてはいなでしようか。

家庭の、あるいは地域社会の中で、何らかの役割を持つといふことは、心に張りを作ることになり、それが生がいとなり、

若さを保つ秘訣へつながります。今までの人生で培われてきた経験や知恵、技術を、若い世代に伝えていただきたいと思います。

まだ現役

夏まつりに熱演

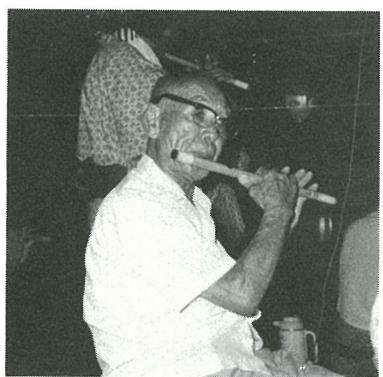
篠本二区 森 茂さん

今年で米寿を迎えた森茂さん

夏祭りには、欠く事のできなり方です。
おはやしの笛を吹き始めて約七十年。その笛の響きには、七十年のキャリアを感じさせる力強さと、やさしさがあります。

篠本二区では、今年からおはしが復活。森さんは、若い人達を指導しながら又、自らおはしこに参加し、盆踊りの楽しい一夜をより一層盛り上げていました。

いつまでもお元気で、若い人達の良き指導者として益ますぐ活躍されることを期待しています。



公共施設を熱心に

町行政委員視察

七月三十日、町の行政委員の方がたが、食肉センター・光浄水場・環境衛生組合などの公共施設の視察を行いました。

猛暑にもかかわらず、町民の生活に直接結びつく施設だけに、係員の説明に熱心に耳を傾け、各施設で盛んな質問をされました。

学校施設、道路整備等を質問

こども議会

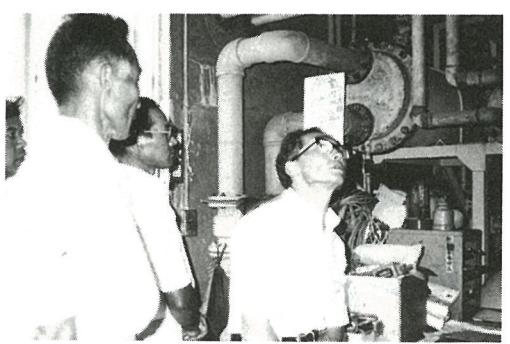
八月十日、町内四小学校から六年生男女二十一人が出席して、こども議会が開かれました。

いく分か、顔をこわばらせながらも堂どうと質問、助役、教育長、各担当課長も本番ながらの様子で「皆さんの意見を尊重し、できる限りの改善を計りたい」と答弁に立っていました。このやり取りに、傍聴席の各議員さん方もうなずきながら聞き入っていました。

日頃、学校で学んでいる地方自治制度や、地方議会制度をこの議会に参加したことにより、より正しく理解していただけたことだと思います。



質問するこども議員



食肉センターで